



萩野 幸弘 議員
(遠野令和会)

一問一答方式

人口維持政策の現状と今後の見通しは

市長：…厳しい状況続くが市民協働で新たなステージを作る

問……………

人口ビジョンの2040年2万人維持目標は達成できる見込みか。

域づくりの取り組みについて、住民主体や市が応援に回ることへの不安があるのでは。

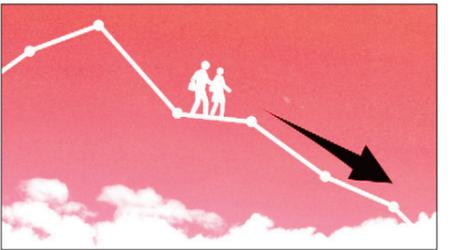
答(市長)……………

様々な施策を通じ努力しているが、目標達成は困難な状況。

問……………

小さな拠点による地

より多くの市民理解が必要と再認識し、現在行政区、自治会単位での地区勉強会を開催している。今後も地域に負担を押し付けることのないよう、丁寧な説明と十分な話し合い



人口減少の右肩下がり阻止することが急務

を続ける。

人口維持に向けた交流人口拡大政策に関する可能性は。

答(市長)……………

遠野への来訪者は「観光・レジャー」目的が多く、交流人口から定住人口へ移行できる可能性があると考えている。まずは「初回来訪者」を増やし、定住に至る段階を経たアプローチが必要だ。

問……………
JR遠野駅舎解体の理解を得るには、先ず耐震補強が不可能という科学的根拠を明らかにすべきでは。

答(市長)……………

耐震補強技術は非常

に進行しており、建物そのものの保存は可能と推察できる。しかし、耐震補強後の活用方法、バリアフリー化等も重要で、単に耐震補強が可能か否かの是非を論点とすべきでない

と判断している。

問……………
現在JR関連会社に委託している基本計画調査について、現時点で公表できる内容は。

答(市長)……………
10月検討結果報告を受け、改めてJR盛岡支社の運輸部と企画部に對し、
①計画年数短縮
②コストダウン
③運営方法を含めた事業可能性
の3点について再度検討を申し入れており、令和2年6月頃には結果が明らかとなる見込みだ。

JR遠野駅舎解体合築に係る基本計画調査の状況は 市長…令和2年6月ごろには検討結果を公表したい



解体跡地に同規模新築が計画されているJR遠野駅舎



菊池 美也 議員
(遠野令和会)

一問一答方式

社会教育として発信するコミュニティスクール 教育長…学校と地域が連携・協働して、子ども達を育むことは、必要な取り組みである

問……………

市立学校を取り巻く教育環境の課題は。

答(教育長)……………

新学習指導要領の対応に加え、「いじめ」や「不登校」等の指導上の課題など、学校の役割は益々大きくなっている。保護者や地域、関係機関や団体の協力を得なければ解決が難しい複雑化・困難化した課題が散見される。

問……………

コミュニティスクールについて、どのように考えているか。

答(教育長)……………

学校を取り巻く諸課題に対応するため、学校の機能強化のひとつと認識している。子ども達が生きる力を育み、地域の方々が自己有用感を感じられるなど、相互補完的な成果も期待できる。

問……………

遠野ならではの取り組みを考えているか。

答(教育長)……………

市民憲章で謳っている「恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちづくり」が、遠野の強みである。地域のことを地域の方々が教わり、子ども達が遠野を知り、遠野に誇りを持ち、自らのキャリアを形成していく営みをより一層促していくことが大切だと考える。

コミュニティスクールの成果物 教育長…児童生徒の「生きる力」、大人の自己有用感と地域の絆



教育民生常任委員会は、上土幌町を視察しました。(P5 参照)

問……………

推進するにあたっての課題と解決策は。

答(教育長)……………

地域と学校の協働の温度差や、小さな拠点づくりの範囲と小学校区が異なる地域が存在していることなど、それぞれの地区の学校運

問……………

遠野らしいコミュニティスクールの取り組みを支援学校・高校などへ展開する考えは。

答(教育長)……………

「子育てするなら遠野」ならではの取り組みとして、市内の県立学校や保育園などとも理念や情報を共有し、連携できるように検討する。

※コミュニティスクールとは
保護者や地域住民が一定の権限を持つて運営に参画する、新しいタイプの公立学校。